

医療資源を重点的に活用する外来に関する 基準割合・水準の現状

2025年2月1日 医療法人徳洲会 南部徳洲会病院

5. 紹介受診重点医療機関となる意向のある医療機関について

【令和6年度外来機能報告（R5.4～R6.3における実績）】

No.	医療機関名	意向の有無	紹介受診重点外来の基準		参考とする水準	
			重点外来の件数の占める割合が ✓ 初診の外来件数の40%以上 かつ ✓ 再診の外来件数の25%以上		✓ 紹介率50%以上 かつ ✓ 逆紹介率40%以上	
			初診率	再診率	紹介率	逆紹介率
1	医療法人おもと会 大浜第一病院	有	49.5%	35.7%		
2	沖縄赤十字病院	有	57.1%	33.6%		
3	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	有	53.5%	39.6%		
4	社会医療法人友愛会 友愛医療センター	有	65.6%	39.3%		
5	琉球大学病院	有	45.2%	32.8%		
6	地方独立行政法人 那覇市立病院	有	36.5%	37.6%	81.4%	90.6%
7	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	有	27.7%	34.3%	39.1%	25.3%
8	医療法人徳洲会 南部徳洲会病院	有	35.6%	30.7%	33.6%	42.9%
9	医療法人博愛会 牧港中央病院	無	40.0%	48.5%		

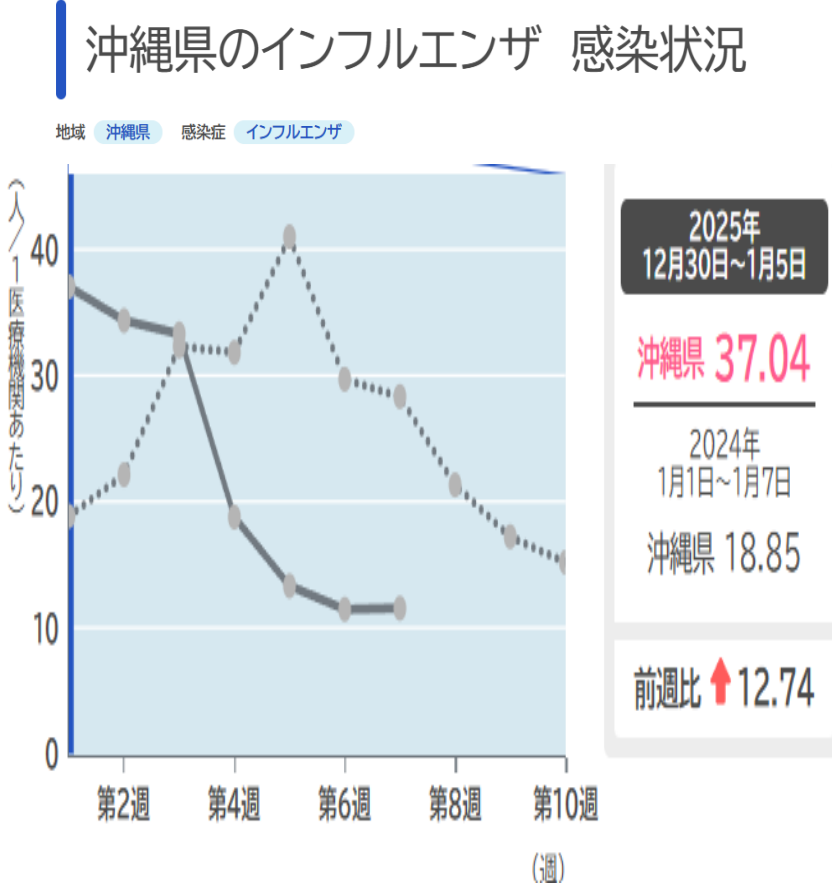
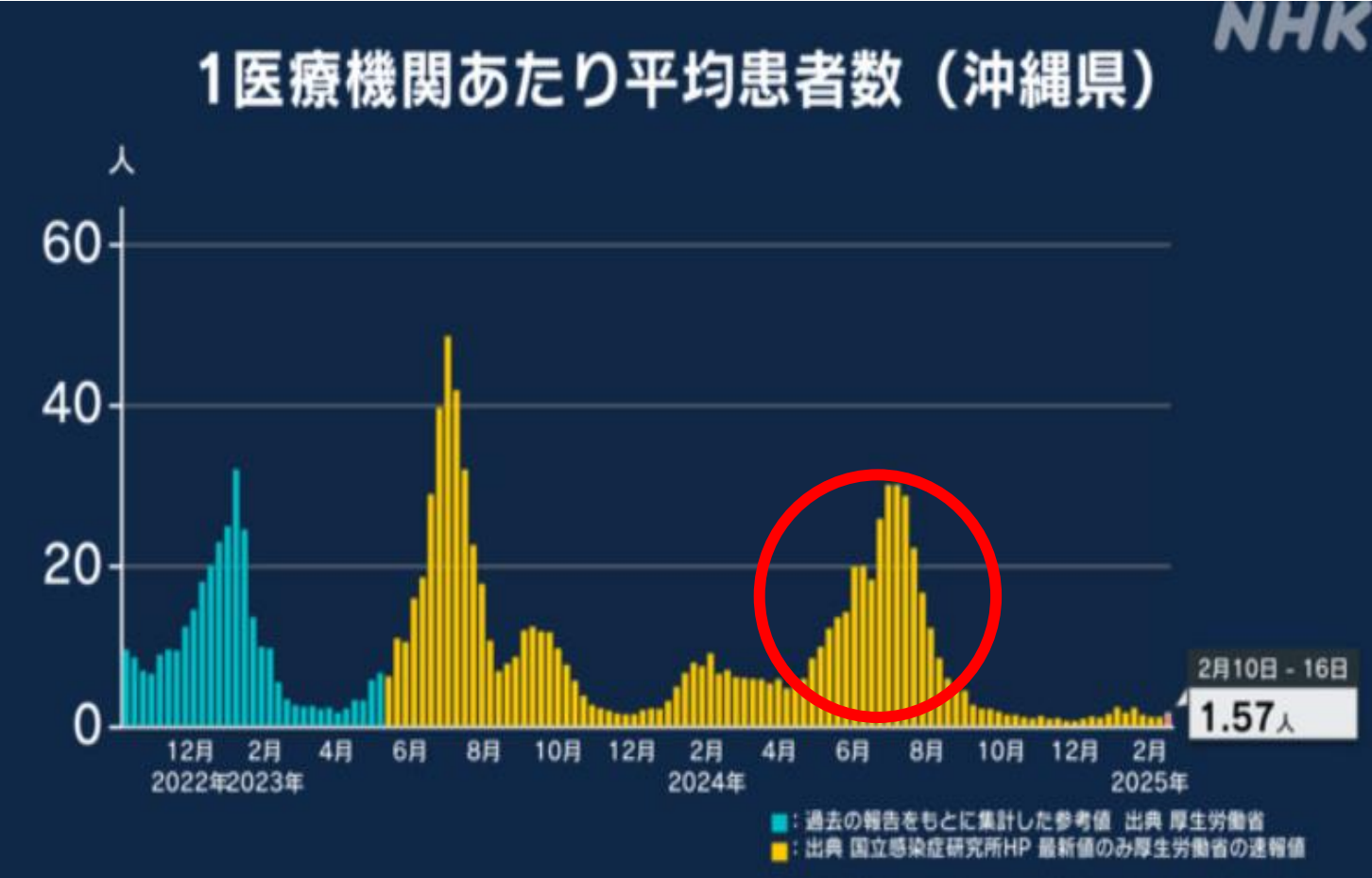
※ No.1～8は、過年度協議により紹介受診重点医療機関として公表済ですが、紹介受診重点医療機関の公表にあたっては、毎年度、協議の場での確認が必要となっています。

令和7年度の紹介受診重点医療機関としての認証に当り、令和6年度の外来機能報告における実績に対して、医療療養資源を重点的に活用する外来の再診率は基準の25%を上回る割合ですが、初診患者については基準割合40%以上のところ35.6%と基準割合を下回る結果となり、参考とする水準に関しては、逆紹介率は水準を満たすものの、紹介率50%以上のところ33.6%と水準を下回る結果となりました。

医療資源を重点的に活用する外来の実施状況 初診	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	累計
(1) 初診の外来の患者延べ数 (単位:日)	1446	1949	2120	2166	1643	1598	1476	1286	1553	1943	17,180
(2)(1)のうち、医療資源を重点的に活用する外来の患者延べ数 (単位:日)	594	609	725	743	630	597	619	559	641	624	6,341
(3) (2)の初診の外来延べ患者数に対する割合 (単位 :%) (医療資源を重点的に活用する外来の患者延べ数÷初診の外来の患者延べ数×100 小数点第二位を四捨五入)	41%	31%	34%	34%	38%	37%	42%	43%	41%	32%	36.9%
(4) (2)のうち、医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来の患者延べ数 (単位:日)	86	71	98	99	91	80	90	72	80	47	814
(5) (2)のうち、高額等の医療機器・設備を必要とする外来の患者延べ数 (単位:日)	504	524	587	635	541	510	533	471	553	552	5,410
(6) (2)のうち、特定の領域に特化した機能を有する外来の患者延べ数 (単位:日)	122	137	187	166	138	155	130	134	139	132	1,440
医療資源を重点的に活用する外来の実施状況 再診	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	累計
(7) 再診の外来の患者延べ数 (単位:日)	9410	9942	10033	10394	9647	8942	9761	8841	9804	9161	95,935
(8) (7)のうち、医療資源を重点的に活用する外来の患者延べ数 (単位:日)	3428	3626	3632	3833	3671	3253	3478	3300	3486	3250	34,957
(9) (8)の再診の外来の患者延べ数に対する割合 (単位 :%) (医療資源を重点的に活用する外来の患者延べ数÷再診の外来延べ患者数×100 小数点第二位を四捨五入)	36%	36%	36%	37%	38%	36%	36%	37%	36%	35%	36%
(10)(8)のうち、医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来の患者延べ数 (単位:日)	865	1210	1136	1242	1301	1113	1232	1402	1233	945	11,679
(11)(8)のうち、高額等の医療機器・設備を必要とする外来の患者延べ数 (単位:日)	2593	2555	2653	2791	2614	2287	2388	2256	2390	2364	24,891
(12)(8)のうち、特定の領域に特化した機能を有する外来の患者延べ数 (単位:日)	291	261	223	214	180	215	244	202	240	228	2,298

・ 当院における令和6年度の医療療資源を重点的に活用する外来の初診患者については、ひと月単位で見ると、10ヶ月中の4か月が初診基準割合を上回っており、今年度も昨年度同様に発熱等の感染症の増加により割合の低下が見られます。

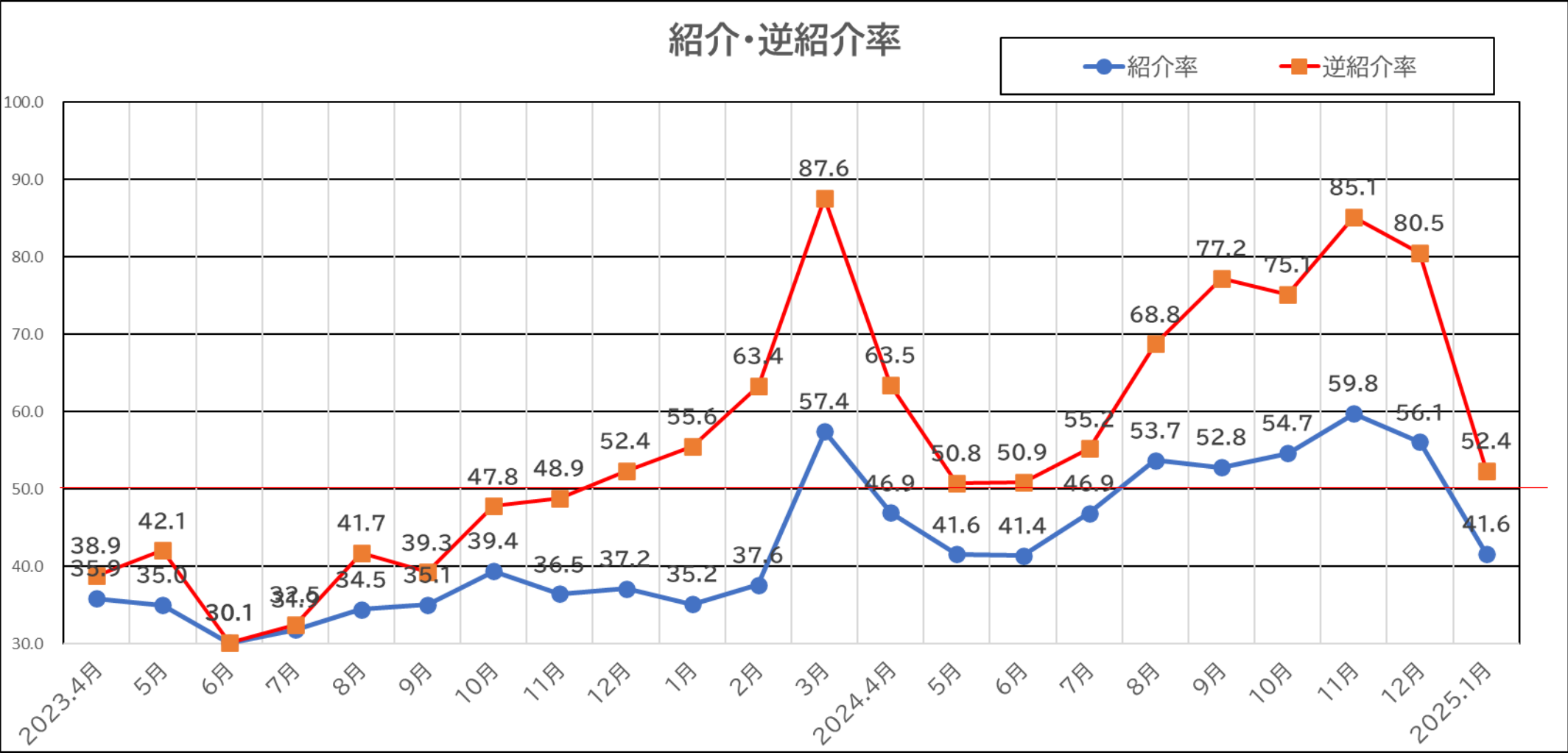
新型コロナ感染症患者の推移



感染症の流行により、かかりつけ医を持たない近隣地域（八重瀬町・南城市・糸満市）の患者の大病院での受診傾向は現在も続いてと思われ、発熱等の初診患者増となった場合に、医療療資源を重点的に活用する外来の初診患者割合が減少する傾向は今年度も続いている。

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
紹介率		47%	42%	41%	47%	54%	53%	55%	60%	56%	42%	48.7%
逆紹介率		63%	51%	51%	55%	69%	77%	75%	85%	81%	52%	64.3%
紹介患者数 (分子)		553	596	670	705	653	602	664	603	628	599	6,273
逆紹介患者数 (分子)		748	728	823	830	836	880	913	859	902	754	8,273
初診患者数 (分母) ① ー (Ⅰ + Ⅱ + Ⅲ)		1,178	1,433	1,618	1,503	1,216	1,140	1,215	1,009	1,120	1,439	12,871
分母内訳	初診患者数 (全体①)	2,024	2,539	2,778	2,851	2,219	2,115	2,078	1,764	2,147	2,492	23,007
	救急搬送 患者数 Ⅰ	147	419	529	614	387	302	347	246	374	457	3,822
	休日・夜間 受診者数 Ⅱ	654	639	579	666	552	616	441	431	596	542	5,716
	自他覚的症状 受診者数 Ⅲ	45	48	52	68	64	57	75	78	57	54	598

・紹介率では今年度の新型コロナウイルス感染症患者のピークとなった7月以降の紹介率は50%を上回る月が増加しております。



・ 令和6年度の紹介率は令和5年度の37.1%から、令和6年年度(4～1月)の実績を入れ48.7%と50%以上の水準に近位しており、感染症は減少傾向であり、前年度の推移から推測した場合に令和7年2月・3月の紹介率は増加が見込めます。

紹介受診重点医療機関の継続に関して(まとめ)

令和7年度の紹介受診重点医療機関としての認証に当り、令和6年度の外来機能報告における実績に対して、医療療資源を重点的に活用する外来の初診患者については、紹介受診重点外来基準40%以上のところ35.6%、紹介率が50%以上のところ、33.6%基準割合を下回る結果となりました。

- その要因として、令和5年度も令和4年度に続き、発熱症状等の感染症に罹患する患者数の増加に伴い、地域における発熱患者の受け皿となったことが挙げられます。

- 感染症患者の減少が見られる月においては紹介患者数の増加により、医療資源を重点的に活用する外来の初診患者の割合について、基準である40%に達しております。

- また、令和6年5月からSPECTを導入し、心臓病（心筋血流シンチグラフィ）脳疾患（脳血流シンチグラフィ）骨疾患（骨シンチグラフィ）に関しては、高額等の医療機器・設備を必要とする外来の患者延べ数増に繋がっております。入院でも手術件数が令和6年度は現時点で単月平均で296件と10%増加しており、令和7年度は医師増員が見込めることから、医療資源を重点的に活用する外来の初診患者の割合を、よりアップさせていく予定です。

- これまでと同様に地域医療構想を踏まえ、将来にわたり継続的・安定的な医療が提供できるよう、地元クリニック等と連携を図りながら、地域を支える中核病院として、地域からの紹介と救急医療を中心に今後も紹介受診重点医療機関としての役割を継続したいと考えております。

- 以上のことから、紹介受診重点医療機関を継続することについて、ご理解・ご承諾いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。